



ライセンス

- [ライセンス](#) (1 ページ)
- [Unified Communications Manager のライセンス](#) (2 ページ)
- [ライセンス コンプライアンス](#) (4 ページ)
- [「ユーザのみ」ライセンス](#) (4 ページ)
- [デバイスのみ](#) (5 ページ)
- [ユーザとデバイス](#) (5 ページ)
- [ユーザごとの最大デバイス数](#) (13 ページ)
- [TelePresence Room ライセンス](#) (14 ページ)
- [ライセンスの代替](#) (14 ページ)
- [ライセンス処理のシナリオ](#) (14 ページ)
- [ユーザの追加](#) (14 ページ)
- [未割り当てデバイスの追加](#) (15 ページ)
- [関連デバイスへのユーザの追加](#) (15 ページ)
- [ユーザごとのデバイス数](#) (16 ページ)
- [ライセンスの使用状況レポート](#) (17 ページ)
- [Cisco Unified のレポート](#) (18 ページ)

ライセンス

Cisco Unified Communications Manager のライセンスは、Cisco Unified Communications Licensing の全体的な商用オファーの一部です。

		User Connect Licensing (Essential)	User Connect Licensing (Basic)	User Connect Licensing (Enhanced/Enhanced Plus)	Unified Workspace Licensing
Cisco Unified CM の機能	モバイル ネットワーク (SNR)	なし	○	○	○

		User Connect Licensing (Essential)	User Connect Licensing (Basic)	User Connect Licensing (Enhanced/Enhanced Plus)	Unified Workspace Licensing
デバイスのサポート	デバイス数	1	1	1/2	10
	デバイスタイプのサポート	アナログ/音声 (詳細については、 ユーザとデバイス の表を参照)	音声 (詳細については、 ユーザとデバイス の表を参照)	音声 (詳細については、 ユーザとデバイス の表を参照)	音声 (詳細については、 ユーザとデバイス の表を参照)
	ユーザプロフィール数	1	1	1	1
[Clients]	Jabber Mobile	なし	なし	○	○
	Jabber Desktop	なし	なし	○	○
	Jabber IM/Presence	○	○	○	○
Application	Webex Meetings	アドオン	アドオン	アドオン	○
	Webex Social	アドオン	アドオン	アドオン	○
	Unity Connection	アドオン	アドオン	アドオン	○
	Cisco Unified CM	○	○	○	○

Cisco Unified Communications Manager のライセンスは、ユーザとユーザの機能、設定されたデバイスの統計によって決定されます。Cisco Unified Communications Manager が、（ユーザの機能と関連デバイスを持つ）ユーザと、システムで設定されたデバイスの合計数に基づいて、ライセンスの使用率を算出します。Cisco Unified Communications Manager は、すべてのライセンスの使用量を Cisco Smart Software Manager へレポートし、ライセンスの準拠または非準拠ステータスを取得します。

Unified Communications Manager のライセンス

Cisco Unified Workspace Licensing (UWL)、略称 CUWL は、コスト効果の高いシンプルなパッケージで広範なシスコ コラボレーション アプリケーションおよびサービスにアクセスできるライセンスです。これには、ソフトウェアクライアント、アプリケーションサーバ、ユーザごとのライセンスが含まれています。

Cisco User Connect Licensing (UCL) は各 Cisco Unified Communications 製品のユーザベース ライセンスです。ソフトウェアクライアント、アプリケーションサーバソフトウェア ライセンス、基本的な Unified Communications アプリケーションが含まれています。必要性和選択するデバイスに応じて、UCL の Essential、Basic、Enhanced、Enhanced Plus のいずれかを使用できます。

Unified Communications Manager ライセンスのタイプは、次のとおりです。

UC Manager Essential	Essential User Connect ライセンス：基本ボイスを提供するデバイスまたはアナログ デバイス（電話機またはファクス）1 台をサポート（例：アナログ電話機、ATA 186、ATA 187、Cisco 3905、Cisco 6901）。
UC Manager Basic	Basic User Connect ライセンス：すべての Essential デバイスを含む 1 台のデバイスと、基本的な（ボイスおよびビデオ）コール制御機能をサポート（例：Cisco 6911、Cisco 6921）。
UC Manager Enhanced	Enhanced User Connect ライセンス：すべての Basic デバイスを含む 1 台のデバイスと、デスクトップおよび携帯クライアントを含む拡張（ボイスおよびビデオ）コール制御機能をサポート（例：Cisco 3911、Cisco 3951、Cisco 6941、Cisco 6945、Cisco 6961、Cisco 79xx、Cisco 89xx、Cisco 99xx、Cisco E20、Cisco TelePresence EX60、Cisco TelePresence EX90、サードパーティ SIP）。
UC Manager Enhanced Plus	Enhanced Plus User Connect ライセンス：すべての Enhanced デバイスを含む最大 2 台デバイスをサポート。
UC Manager CUWL	デスクトップやモバイル、プロのコラボレーション作業スペースアプリケーション機能を含む高度な（音声およびビデオ）コール制御機能をサポートし、ユーザ 1 人あたり最大で 10 台のデバイスをサポートします。

UC Manager TelePresence Room	TelePresence Room ライセンス：イマーシブおよびマルチパーパスの Cisco TelePresence System エンドポイントおよび Spark Room に基づくルームをサポート（例：Cisco TelePresence System シリーズ 3200、3000、1300、Cisco TelePresence MX シリーズ、Cisco TelePresence TX シリーズ、Cisco TelePresence System Profile シリーズ）。
------------------------------	--

ライセンス コンプライアンス

Unified Communications Manager を初めてインストールすると、Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager に正常に登録されるまで、90 日間の評価のデモンストラーションモードで完全に動作します。登録後、Unified Communications Manager は定期的に Cisco Smart Software Manager と通信します。Unified Communications Manager は、すべてのライセンス要件をタイプ別に Cisco Smart Software Manager へレポートし、ライセンスのステータスを取得します。

Unified Communications Manager で非コンプライアンスの状態のライセンスは、90 日間のライセンス超過期間の後に適用されます。猶予期間を過ぎると Unified Communications Manager は非コンプライアンスに設定され、次のようなサービスの低下が発生します。

デバイスとユーザのプロビジョニングはできません。ライセンスに影響するユーザの設定（たとえば、[IM and Presenceの有効化/無効化] や [モビリティの有効化/無効化] のチェックボックスの変更）はできません。

スマート ライセンス操作の詳細については、次を参照してください。 [Cisco Unified Communications Manager システム設定ガイド](#)

「ユーザのみ」ライセンス

システムで設定されているユーザがデバイスに関連付けられていない場合、そのユーザはデバイスを所有せず「ユーザのみ」となります。デバイスの [OwnerUserID] フィールドにそのユーザのユーザ ID が入力されると、ユーザはデバイスに関連付けられ、そのデバイスを「所有」したことになります。デバイスに関連付けられていないユーザ向けの「ユーザのみ」ライセンスについては、「ユーザとデバイスのサポート」の表に示されています。

ユーザがデバイスを所有していない場合、またはライセンスが必要なユーザ機能を使用していない場合は、システムにユーザを追加してもライセンスが消費されることはありません。ただし、ライセンスが必要なユーザ機能がユーザに設定されている場合や、ユーザがデバイスを所有している場合は、ライセンスが消費されます。現在ライセンスされている機能は、モバイルコネクト (モビリティまたはシングルナンバーリーチまたは SNR と呼ばれる) のみです。

ユーザのモバイルコネクト(またはモビリティまたはシングルナンバーリーチ)は、エンドユーザをデバイスの所有者(ユーザ ID フィールド)に設定したりリモート接続先プロファイル (RDP) が作成されている場合に設定されます。

デバイスのみ

デバイスが Cisco Unified Communications Manager に追加され、デバイス設定ウィンドウに [OwnerUserID] フィールドのエントリがない場合、そのデバイスはユーザに割り当てられていない、または関連付けられていないとみなされ、「デバイスのみ」と分類されます。「デバイスのみ」のデバイスのライセンスは、「Cisco Unified Communications Manager Licensing - ユーザおよびデバイスのサポート」の表に一覧で記載されています。デバイスが Cisco Unified Communications Manager に追加され、[OwnerUserID] フィールドのエントリがない場合、そのデバイスには、デバイスのタイプごとに決められた最低限のライセンスタイプが必要となります。必要なライセンスは、「Licensing-ユーザおよびデバイスのサポート」の表に示されています。

ユーザとデバイス

デバイスの [OwnerUserID] フィールドにユーザ ID を入力し、デバイスをユーザに割り当てると、またはデバイスをユーザに関連付けると、そのユーザとデバイスのライセンス要件は、デバイスのタイプおよびそのユーザに割り当てられているデバイス数によって決定されます。1つのデバイスを所有するユーザの場合、ユーザのユーザ ID が1つの Essential デバイス (3905、6901、アナログ デバイスなど) に OwnerUserID として追加されると、ユーザとデバイスに必要な最小ライセンスは1つの Essential ライセンスになります。つまり、1つの Essential ライセンスによって、ユーザとデバイスの両方がサポートされます。その一方で、ユーザのユーザ ID が1つの Basic デバイス (6911、6921 など) に OwnerUserID として追加された場合、ユーザとデバイスに必要な最小ライセンスは1つの Basic ライセンスになります。ユーザのユーザ ID が1つの Enhanced デバイスに OwnerUserID として追加された場合、ユーザとデバイスに必要な最小ライセンスは1つの Enhanced ライセンスになります。

複数のデバイスを所有するユーザの場合、最小ライセンスはそのユーザが所有するデバイスの数によって決定されます。「Cisco Unified Communications Manager ライセンス」の表に、1つのユーザライセンスでサポートされるデバイスの最大数を示します。2つのデバイスを所有するユーザには、少なくとも1つの Enhanced Plus ライセンスが必要です。3つ以上のデバイスを所有するユーザは、少なくとも CUWL ライセンスが必要です。

「Cisco Unified Communications Manager ライセンス - ユーザとデバイスのサポート」の表に、ユーザのみ、デバイスのみ、およびユーザとデバイス向けの Cisco Unified Communications Manager ライセンスについて示します。

表 1: Cisco Unified Communications Manager ライセンス - ユーザとデバイスのサポート

ライセンス タイプ	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
UC Manager Essential	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified SIP 電話 3905 • Cisco Unified IP 電話 6901 • アナログ デバイス 	1 つの Essential デバイスを所有する 1 人のユーザ。	該当なし
UC Manager Basic	<p>Cisco Unified IP Phone 6911 および 6921 モデル</p> <p>または</p> <p>UC Manager Essential ライセンスタイプのデバイス</p>	<p>1 つの Basic デバイスを所有する 1 人のユーザ。</p> <p>または</p> <p>UC Manager Essential ライセンスタイプのユーザおよび関連デバイス。</p>	<p>シングルナンバーリーチが有効な 1 人のユーザ（モバイルコネクト）。</p> <p>または</p> <p>UC Manager Essential の必須ライセンスタイプを持つユーザ。</p>

ライセンス タイプ	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
UC Manager Enhanced		1 台の拡張デバイスを持つユーザ。 または UC Manager Essential または UC Manager Basic ライセンスタイプのユーザおよび関連デバイス。	該当なし

ライセンスタイプ	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified IP 電話 3911、3941、3951 • Cisco Unified IP Phone 6941、6945、および 6961 モデル • Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ (7900G、7911G、7912G、7931G、794xG、796xG、および 7975G モデル) • Cisco Unified IP Phone 8900 シリーズ (8941、8945、および 8961 モデル) • Cisco Unified IP Phone 9900 シリーズ (9951 および 9971 モデル) (カメラ付き/カメラなし) • Cisco Unified ワイヤレス IP 電話 シリーズ (792xG および 7925G-EX モデル) • Cisco Unified IP Conference Station (7936G および 7937G Station) • Cisco Unified Softphone (Cisco Unified Personal Communicator、Cisco UC Integration for Lync、Cisco UC 		

ライセンス タイプ	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
	<p>Integration for Connect、および Cisco IP Communicator)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Jabber クライアント (Jabber for Mac、Jabber for Windows、Jabber for iPhone、Jabber for Android、Jabber for iPad、および Jabber SDK) • ボイスおよびビデオファームウェアを含む Cisco Virtual Experience Client (VXC) • Cisco IP Video Phone E20 • Cisco TelePresence System EX シリーズ (EX60 および EX90) • サードパーティの SIP デバイス • Cisco Desktop Collaboration Experience DX600 シリーズ • Transnova S3 • Cisco Spark Webex Room Device • IMS <p>または</p> <p>UC Manager Essential または UC Manager Basic ライセンスタイプのデバイス。</p>		

ライセンスタイプ	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
UC Manager Enhanced Plus	該当なし	2つのデバイスを所有する1人のユーザ。 または UC Manager Essential、UC Manager Basic、UC Manager Enhanced、 または UC Manager Enhanced Plus ライセンスタイプを含むユーザおよび関連デバイス。	該当なし

ライセンス タイプ	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
UC Manager TelePresence Room ライ センス		1 UC Manager TelePresence Room デバ イスが関連付けられて いるユーザ。	該当なし

ライセンスタイプ	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco TelePresence System 500 シリーズ • Cisco TelePresence System 1100 • Cisco TelePresence System 1300 シリーズ • Cisco TelePresence System 3000 シリーズ • Cisco TelePresence System 3200 シリーズ • Cisco TelePresence TX9000 シリーズ (TX9000、TX9200) • Cisco TelePresence TX1300 シリーズ • Cisco TelePresence System Profile シリーズ (42 インチ 6000 MXP、52 インチ MXP、52 インチ Dual MXP、65 インチ、および 65 インチ デュアル) • Cisco TelePresence System Codec C90/C60/C40 • Cisco TelePresence System Quick Set C20 • Cisco TelePresence MX シリーズ (MX300 および MX200) 		

ライセンス タイプ	デバイスのみ	ユーザとデバイス	ユーザのみ
	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco TelePresence 1000 • Cisco TelePresence SX シリーズ • Cisco Webex Devices • Generic Desktop Video Endpoint • Generic Multiple Screen Room System • Generic Single Screen Room System 		

「デバイスのみ」とは、Cisco Unified Communications Manager で設定された、ユーザによる関連付けがない（[OwnerUserID] フィールドが空白である）デバイスを意味します。

「ユーザとデバイス」とは、Cisco Unified Communications Manager で設定された、ユーザによる関連付けがある（[OwnerUserID] フィールドにユーザIDが登録されている）デバイスを意味します。

「ユーザのみ」とは、Cisco Unified Communications Manager で設定された、デバイスが関連付けられていない（Cisco Unified Communications Manager デバイスで OwnerUserID としてのユーザIDが見つからない）ユーザを意味します。

前述の表のボードで示されているテキストは、ライセンスの置換によってデバイスがサポートされることを示しています。この場合は、リストされているライセンスタイプの使用可能なライセンスを使用して、低いレベルのライセンス要件を満たすことができます。Cisco Smart Software Manager で完了しています。



(注) MGCPFXS ポートはアナログ電話と見なされないため、これらのポートにはライセンスは必要ありません。

ユーザごとの最大デバイス数

Essential ライセンス、基本ライセンス、および Enhanced ライセンスは、関連デバイスを1つ所有するユーザをサポートします。ユーザIDは1つのデバイスの[オーナーのユーザID]フィールドに入力されます。Enhanced Plus ライセンスは、関連付けられた2デバイスを使用するユー

ザをサポートします。UWL は、関連デバイスを 3 つ以上（最大 10 個）所有するユーザをサポートします。

TelePresence Room ライセンス

多目的 TelePresence デバイスとイマーシブテレプレゼンス デバイスは、個別のデバイス ライセンス タイプの TelePresence Room ライセンスに基づいてライセンス付与されます。TelePresence デバイスおよび電話機の [OwnerUserID] フィールドに電話機と同じユーザ ID が入力されている場合に限り、TelePresence デバイスと Cisco Unified Communications Manager に登録されている電話機が TelePresence Room ライセンスの対象になります。TelePresence デバイスと電話機の両方の [OwnerUserID] に同じユーザ ID が入力されていない場合、デバイスは関連付けられず、2 つのライセンスが必要になります。つまり、デバイス用の TelePresence Room ライセンスと電話機用の Enhanced が必要になります。TelePresence タッチ デバイスは Cisco Unified Communications Manager に登録されません。このため、別のライセンスまたは OwnerUserID の関連付けは必要ありません。

ライセンスの代替

Cisco Smart Software Manager (CSSM) は、コンプライアンスを有効にするために、使用可能なライセンスの階層ライセンス代替を許可します。ライセンス代替を管理し、使用可能な上位レベルのライセンスは下位レベルのライセンス要件に合うように代用または貸し出されます。たとえば、お客様が 100 件の UC Manager CUWL ライセンスを所持しているにもかかわらず、Cisco Unified Communications Manager が 10 件の CUWL ライセンスおよび 50 件の UC Manager Enhanced Plus ライセンス要件をレポートで返す場合、CSSM は 100-10、つまり 90 件の UC Manager CUWL ライセンスが下位の階層への貸し出しに使用できると計算します。90 件の使用可能な UC Manager CUWL ライセンスのうち、50 件の CUWL ライセンスが 50 件の Enhanced Plus ライセンス要件に合わせて使用されます。CSSM には、使用可能な 40 件の UC Manager CUWL ライセンスが表示されます。

ライセンス処理のシナリオ

次のライセンス処理のシナリオでは、ライセンス要件となる Cisco Unified Communications Manager の管理の設定変更を段階的に説明します。

ユーザの追加

[エンドユーザの設定] または一括管理ツールによって、新規ユーザ（ユーザ A）が Cisco Unified Communications Manager の管理に最初に追加される際に、そのユーザが [モビリティの有効化] でリモート デバイス プロファイルを所有していないため、その新規ユーザにライセンスは必要ありません。

新規ユーザ（ユーザ B）が最初に Cisco Unified Communications Manager に追加され、そのユーザに [モビリティの有効化] でリモート接続先プロファイルが設定されている場合、その新規ユーザ（ユーザ B）には基本ライセンスが必要です。

ユーザ ID	ライセンスを持つユーザの機能	必要なライセンス	(注)
ユーザ A	None	None	割り当てデバイスなし
ユーザ B	モビリティ	基本	割り当てデバイスなし

未割り当てデバイスの追加

今回は新規のデバイスを Cisco Unified Communications Manager に登録して、そのデバイスの [オーナーのユーザ ID] フィールドにユーザ ID が入力されていない場合、そのデバイスはユーザに未割り当てで、『Cisco Unified Communications Manager Licensing』の「User and Device Support」の表に表示されているように、未割り当てデバイスのデバイス タイプごとにライセンスが必要となります。たとえば、Device6901 が追加されると Essential ライセンスが必要となります。Device6921 が追加されると Basic ライセンスが必要となります。DeviceEX60 が追加されると Enhanced ライセンスが必要となります。

Enhanced Plus、CUWL Standard、または CUWL Professional ライセンスを必要とするデバイスは現在ありません。そのため Enhanced Plus など前述のライセンスを必要とする未割り当てデバイスに関する Cisco Unified Communications Manager の要件は表示されていません。

表 2: ライセンス要件があるデバイスの例

Device	必要なライセンス	(注)
Device6901	UC Manager Essential	オーナーのユーザ ID なし
Device6921	UC Manager Basic	オーナーのユーザ ID なし
DeviceEX60	UC Manager Enhanced	オーナーのユーザ ID なし

関連デバイスへのユーザの追加

デバイスを追加してそのデバイスがユーザに関連付けられている場合は、ユーザとデバイスはライセンスを共有します。1 ユーザにつき 1 デバイスのため、必要なライセンスは、必要なユーザ ライセンスまたはデバイス ライセンスのうち、数が大きな方になります。次のシナリオでは、1 ユーザにつき 1 デバイスの場合、デバイスとユーザ関連の各種組み合わせを検討します。

ユーザに関連付けられた必須デバイス

OwnerUserID = UserA と入力することによって Device6901 (Essential デバイス) が User A に割り当てられた場合、デバイスとユーザの両方が 1 つの Essential ライセンスでサポートされます。

しかし、OwnerUserID = UserC (または UserD) と入力することで Device6901 (Essential デバイス) が UserB (Basic ユーザ) に割り当てられると、デバイスとユーザの両方が 1 つの Basic ライセンスでサポートされます。

ユーザに関連付けられた Basic デバイス

OwnerUserID = UserA と入力することによって Device6921 (Basic デバイス) が User A に割り当てられた場合、デバイスとユーザの両方が 1 つの Basic ライセンスでサポートされます。同様に、User B と入力することによって Device6921 (Basic デバイス) が User B (Basic ユーザ) に割り当てられた場合、デバイスとユーザの両方が 1 つの Basic ライセンスでサポートされます。

ユーザに関連付けられた拡張デバイス

ほとんどの物理的な電話やソフトクライアント、また EX60 や EX90 などのデスクトップビデオデバイスは、Enhanced デバイス レベルに付属しています。OwnerUserID = User A と入力することによって Device EX60 (Enhanced デバイス) が User A に割り当てられた場合、デバイスとユーザの両方が 1 つの Enhanced ライセンスでサポートされます。同様に、User B と入力することによって Device EX60 (Enhanced デバイス) が User B (Basic ユーザ) に割り当てられた場合、デバイスとユーザの両方が 1 つの Enhanced ライセンスでサポートされます。

表 3: ユーザとデバイスのライセンス要件の例

Device	OwnerUserID	ライセンスを持つユーザの機能	必要なライセンス
Device6901	ユーザ A	None	UC Manager Essential
	ユーザ B	モビリティ	UC Manager Basic
Device6921	ユーザ A	None	UC Manager Basic
	ユーザ B	モビリティ	UC Manager Basic
DeviceEX60	ユーザ A	None	UC Manager Enhanced
	ユーザ B	モビリティ	UC Manager Enhanced

ユーザごとのデバイス数

上記のユーザとデバイスの例は、ユーザが 1 つのデバイスに関連付けられている場合のみ適用されます。この場合、ユーザ ID は 1 つのデバイス構成の [オーナーのユーザ ID] フィールド

にのみ表示されます。ユーザが複数のデバイスに関連付けられている場合は、デバイス タイプにかかわらず、上位レベルのライセンスが必要となります。

ユーザ A が 1 つのデバイスの [オーナーのユーザ ID] に割り当てられている場合、上記のシナリオが当てはまります。ただし、ユーザ A が 2 つのデバイスの [オーナーのユーザ ID] に割り当てられている場合、Enhanced Plus ライセンス 1 件がユーザおよび 2 つの関連デバイスの両方に必要となります。ユーザ A が 2 つよりも多いデバイスの [オーナーのユーザ ID] に割り当てられている場合は、UWL Standard ライセンス 1 件が必要となります。ユーザ A は、UWL Standard ライセンス 1 件につき最大 10 個のデバイスに割り当てることができます。ユーザ 1 人に対して 10 個より多いデバイスが割り当てられる場合は、ユーザは UWL Standard ライセンス 1 件に加えて、追加のデバイスに対して追加のライセンスが必要となります。

ライセンスの使用状況レポート

使用状況の詳細には、ライセンスのタイプ、ユーザ、および未割り当てのデバイスが含まれます。使用情報は 6 時間に 1 回更新されますが、[使用状況の詳細の更新(Update Usage Details)] をクリックして手動で更新することができます。[使用状況の詳細の更新(Update Usage Details)] をクリックするとリソースが集中的に使用されるため、システムのサイズによっては処理が完了するまでに数分かかることがあります。Unified Communications のライセンス情報を確認するリンクは、[すべてのライセンスタイプの説明とデバイスの分類の表示] にあります。

アラームまたはライセンスアラート (ライセンスの非コンプライアンス状態) が発生すると、**ステータス** メッセージが表示されます。ステータス メッセージの詳細については、「アラーム、アラート、およびライセンス ステータス通知」を参照してください。ライセンスのコンプライアンスおよび非コンプライアンスの詳細については、「ライセンスコンプライアンス」を参照してください。

[ライセンス要件(タイプ別)(License Requirements by Type)] テーブルには、現在のシステム ライセンス要件が表示されます。これには、現在のライセンスの使用状況 (必要なライセンス数) がライセンスのタイプ別に示され、ライセンスが必要なユーザ数および未割り当てのデバイス数がライセンスのタイプ別にまとめられます。ライセンスタイプ別レポートのリンクは、ユーザ (数) または未割り当てのデバイス (数) ごとに表示され、ドリルダウンリンクが含まれています。ユーザ レポートでは、ユーザ ID リンクによって、ユーザ ID ごとのユーザ設定の詳細が表示されます。ビューの詳細リンクは、ユーザ ID ごとにライセンス要件を提供します。割り当てられていないデバイスレポートでは、割り当てられていないデバイスごとに必要なデバイス タイプとライセンス タイプが表示されます。

ユーザおよび未割り当てのデバイス別にまとめられたライセンスの使用状況レポートも使用できます。[ユーザ(Users)] 行には、システムに設定されたユーザの合計数が表示され、ユーザの [使用状況レポートの表示(View Usage Report)] では、システムに設定されたすべてのユーザと対応する各ライセンス要件のレポートが表示されます。また、未割り当てのデバイスの [使用状況レポートの表示(View Usage Report)] では、未割り当てのデバイス (ユーザに関連付けられていないデバイス) の合計数が表示されます。



- (注) Cisco Unified Communications の管理ページでユーザ ID をデバイスに割り当てると、そのデバイスはライセンスの使用状況レポートの [未割り当てのデバイス] から ユーザに移動します。ただし、エンドユーザの制御するデバイスのリストにデバイスを追加しても、そのデバイスに関する「ライセンスの使用状況レポート」の出力結果は変わりません。

Cisco Unified のレポート

次のレポートは、Cisco Unified Communications ソリューションの Cisco Unified Reporting コンソールで見ることができます。

1. Cisco Unified Communications Manager の管理のログイン ページのナビゲーションバーで、[Cisco Unified Reporting] をクリックします。
2. [システムレポート] を選択します。
3. [Unified CM デバイス数の集計] を選択します。

生成されたレポートでは、各モデルのデバイス数をクラスタごとに集計します。

1. Cisco Unified Communications Manager の管理のログイン ページのナビゲーションバーで、[Cisco Unified Reporting] をクリックします。
2. [システムレポート] を選択します。
3. [Unified CM ユーザ デバイス数] を選択します。

生成されたレポートは、電話機とユーザの関係を、ユーザのいない電話機の数、1 台電話機を持っているユーザの数、2 台以上電話機を持っているユーザの数で、クラスタごとにまとめます。

1. Cisco Unified Communications Manager の管理のログイン ページのナビゲーションバーで、[Cisco Unified Reporting] をクリックします。
2. [システムレポート] を選択します。
3. [Unified CM ユーザ デバイス数] を選択します。

生成されたレポートは、電話機とユーザの関係を、ユーザのいない電話機の数、1 台電話機を持っているユーザの数、2 台以上電話機を持っているユーザの数で、クラスタごとにまとめます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。